

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 25 年 5 月 9 日 (2013.5.9)

【公表番号】特表 2011-510501 (P2011-510501A)  
 【公表日】平成 23 年 3 月 31 日 (2011.3.31)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-013  
 【出願番号】特願 2010-543393 (P2010-543393)  
 【国際特許分類】

H 0 1 L 31/04 (2006.01)

C 0 1 B 31/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 H

C 0 1 B 31/00

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成 25 年 3 月 18 日 (2013.3.18)

【誤訳訂正 1】  
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲  
 【訂正対象項目名】全文  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無希釈のフッ素から成るか、または、フッ素および窒素の混合物、フッ素およびアルゴンの混合物、もしくはフッ素、窒素、およびアルゴンの混合物から成るエッチングガスでウェーハをエッチングするステップを含む、プラズマ援用処理でシリコンウェーハから太陽電池を製造する方法。

【請求項 2】

単結晶ウェーハが処理される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

多結晶ウェーハが処理される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

N 型ドーブコーティングを伴う P 型ドーブシリコンウェーハが処理される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

少なくとも 1 つの亀裂を有するウェーハがエッチングされる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

リン - ガラス様コーティングを有するウェーハがエッチングされる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記ウェーハの表面をエッチングして前記表面を粗面化する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

遠隔プラズマによりエッチングが支援される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

エッチングの後に前記ウェーハに対して接点電極が適用される、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の方法によって製造された 2 つ以上の太陽電池を組立てる、ソーラーパネルの製造方法。

## 【請求項 1 1】

前記太陽電池の裏側の非励振エミッタまたは P E R L 太陽電池のフォトマスクがエッチングされる、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 1 2】

F<sub>2</sub>、Ar および N<sub>2</sub> の混合物が適用され、F<sub>2</sub> の含有量は 1 体積% 以上 2 5 体積% 以下であり、Ar の含有量は 4 体積% 以上 2 5 体積% 以下であり、N<sub>2</sub> の含有量は 4 体積% 以上 7 5 体積% 以下である、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 1 3】

F<sub>2</sub> と Ar の和は、5 0 体積% 以下である、請求項 1 2 に記載の方法。

## 【請求項 1 4】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の方法により得られる太陽電池。

## 【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載の複数の太陽電池を含むソーラーパネル。

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 8】

フッ素、窒素およびアルゴンを含む混合物が適用される場合、フッ素の含有量は好ましくは 1 体積% 以上 である。それは好ましくは 2 5 体積% 以下である。アルゴン含有量は好ましくは 4 体積% 以上である。好ましくは、アルゴン含有量は 2 5 体積% 以下である。窒素含有量は好ましくは 4 体積% 以上 である。それは好ましくは 7 5 体積% 以下である。